

# <公園・広場づくりの検討経緯>

## 第一次提案：公園の規模・配置

(2014年9月22日)

### ■当初計画

公園・広場の種類
小・中一貫校 校庭
中央緑道 延長：800m 幅員：10～15m
街区公園 6ヶ所 約 2,500 m <sup>2</sup>
半径 250m ごとに配置
復興公営住宅 集合住宅広場
閑上グラウンド
震災メモリアル公園

### ■まちづくり提案

公園・広場の種類	コンセプト 位置づけ、使い方、空間イメージ	一体的に検討 すべき施設
小・中一貫校 校庭		・子育て施設 ・中央緑道
中央緑道 延長：小・中一貫校 ～震災メモリアル公園 幅員：10～15m		・子育て施設 ・商業・福祉施設 ・中央公園 ・街区公園等
<b>中央公園</b> 1ヶ所 約 5,000 m <sup>2</sup>	<b>第五次提案：中央公園</b> (2016年5月18日)	・公民館 ・中央緑道
街区公園 5ヶ所 約 1,000 m <sup>2</sup> 以上	<b>第六次提案</b> [本提案の対象]	・子育て施設 ・中央緑道 ・かわまちづくり
<b>ポケットパーク</b> 7ヶ所 約 300～500 m <sup>2</sup>		・かわまちづくり ・集会所等
復興公営住宅 集合住宅広場		・中央緑道
閑上グラウンド		
震災メモリアル公園		・中央緑道
かわまちづくり	<b>水辺を活かしたまちづくり検討会</b> (2015年10月～2016年3月)	・街区公園 ・ポケットパーク

## ■中央公園は閑上にとって中心となる場所とする

・中央公園, 公民館, 中央緑道は一体として閑上のまちの核を形成する。



・緊急時は指定避難場所の公民館と一体的な防災活動の拠点を形成する。



・ソフトボールなどのレクリエーション利用が可能なスペースを確保する。



・地区民運動会が開催できるよう陸上トラックとテントを設置できるスペースを確保する。



・散歩の休憩や健康増進として利用できるような設備を配置する。

## ■かわとまちとの一体的利用を想定した名取川沿いのにぎわいづくり



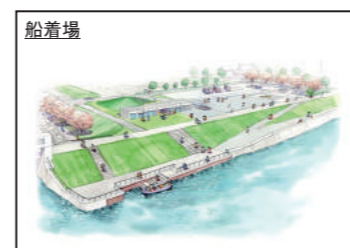
堤防天端道路・側帯整備



堤防高さ T.P. 7.2m 堤防天端道路幅 6m 側帯幅 10～12m

河川区域・区画整理区域での出店店舗によるにぎわいのイメージ

## ■名取川沿いのアクセス性や親水性の向上



船着場  
閑上水門を通る規模の船が利用(全長 10～15m)



管理用通路(散策路)  
通路幅 4～6m T.P. 3.5m



テラス  
水辺に近づき佇むことができる T.P. 0.8m



高水敷調整  
かさ上げを行い整備 T.P. 2.0m程度